

1. 技術を学ぶねらい

- (1) 生活に役立つ技術に関する「基本知識」や「技能」、生活をより良くするための「創造」や「工夫」を身につける。
- (2) 実際に生活に役立つ作品（教材）より、自ら課題を設定し解決する力をつける。また、完成した時の達成感や充実感を味わい、作る喜びを実感する。

2. 学習方法

- (1) 授業や学習の基本は、授業規律の成立からです。忘れ物をしない、チャイムで始められる、私語なく黙って先生の話を聞ける、準備や片づけを自主的にできる、などの学習の基本を身につけることから始まります。
- (2) 授業の進め方
 - ・教室では、座学とハンドノートを中心に作業に必要な基本的知識を身につけます。
 - ・実習では、授業の目標や作業内容を確認し、作業後にその日の振り返りを行います。
- (3) 定期考査は、授業の内容やハンドノート等を中心に出题します。
- (4) 課題は授業で習ったことを用い、しっかり考え抜いて取り組みましょう。

3. 持ち物、忘れものなどについて

- (1) 持ち物について、①教科書 ②ハンドノート ③タブレットPCが基本です。
※ハンドノートは、授業後回収し、定期考査前に返却します。
(出席確認・持ち物点検をします。)
- (2) 服装は基本的に標準服ですが、作業内容によりジャージを着て、行う場合があります。

4. 学習の評価内容と評価方法

- ① 第一観点：「知識・技能」
(実習に伴う知識と理解・ハンドノート・課題プリント・定期考査・作業の準備や片付け・提出物
作業手順の正しさ・情報のやりとりする仕組みの理解・作品の完成度)
- ② 第二観点：「思考・判断・表現」
(作品の工夫やアイデア・ハンドノート・課題プリント・振り返りの記入内容・定期考査)
- ③ 第三観点：「主体的に学習に取り組む態度」
(課題プリント・ハンドノート・授業や作業への取り組み)

5. 先生からのアドバイス

- ★ 授業中は安全第一に行動し、意欲的に取り組むようにしましょう。
- ★ 課題は必ず期限を守って提出しましょう。
- ★ 作品は必ず完成させるようにしましょう。

6. 技術科 3 学年／年間学習計画（概要）

学 期	月	単元名・学習内容	学習の目標	評価方法
1	4 5 7	＜情報の技術＞ 情報とコンピュータ 計測・制御による問題解決	・計測・制御の仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 ・安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 ・入出力されるデータの流れをもとに解決策となる計測・制御システムを構想し、情報処理の手順を具体化することができる。 ・問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。	・授業観察 ・課題の記入内容と提出 ・正確なパソコン操作及び作品の完成度 ・定期考査
2	9 ～ 12	双方向性のあるコンテンツによる問題解決	・双方向性のあるコンテンツの仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 ・双方向性のあるコンテンツに関わる問題を見だし、課題を設定できる。 ・使用するメディアを複合する方法と効果的な利用方法など利用者に配慮した解決策を構想し、情報処理の手順を具体化することができる。 ・安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 ・制作工程表に基づき、設計と実際の動作を確認しながら、合理的な解決作業を考えることができる	・授業観察 ・課題の記入内容と提出 ・実技 ・定期考査
3	1 3	技術分野での問題解決を振り返る	・技術の見方・考え方を通して、最適な解決策を示すことができる。 ・持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度が身についている。	・授業観察 ・課題の記入内容